萩ジオパーク
推進協議会だより vol.78

萩ジオパーク推進協議会
｜2021年8月31日発行｜

〒758-0041
山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階
0838-21-7765 0838-25-7767
geo@city.hagi.lg.jp
https://hagi-geopark.jp
https://www.facebook.com/HagiGeoProject

野外での遊びを通して大地と向き合う心を育む**「大地の遊び人養成講座」**の第2回を、8/7に開催しました。講師は、阿武町を中心にシーカヤック等の活動をされている高井一さんです。第1回は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりましたが、今回は無事に開催することができました。定員を超える13名の方にご参加いただきました。

講座といっても、講師はそっと寄り添うだけ。何をして遊ぶのかという内容も、自分たちで決めます。今回はシーカヤックなどの海での遊びをしたいという方が多く、波打ち際に拠点を置いての活動となりました。みんなでライフジャケットを身に着けて、まずはプカプカ浮いて水に親しむところから、その後は岩場の生き物を観察したり、石ころを観察したり、ちょっとシーカヤックの乗り方を教わったり…。あっと言う間に時間が過ぎていきました。

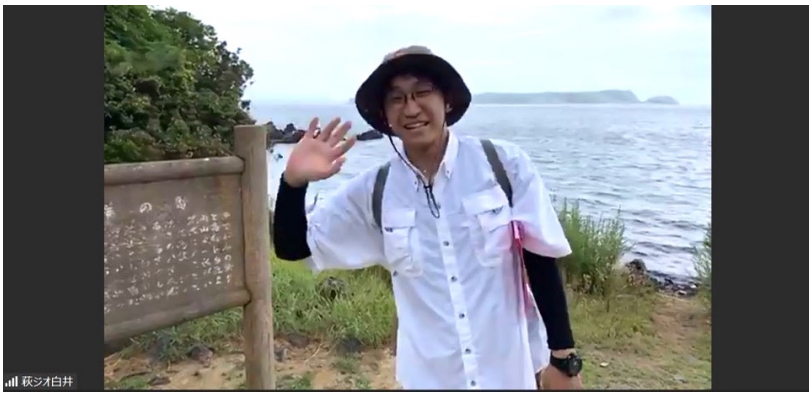
半日だけの短い時間でしたが「楽しかった」「今後も外遊びをたくさんしたい」といった声が多く聞かれました。大地の遊び人として、どんどん成長してほしいですね。

次回は9月18日です（既に申込み定員に達しました）。次はどんな遊びができるかな。

「龍が通った道まつり」探検！畳ヶ淵 を開催

畳ヶ淵交流事業実行委員会主催の**「龍が通った道まつり」**が8月1日に開催され、32名の参加者がありました。新型コロナウイルス感染症対策として参加者を萩市と阿武町にお住まいの方に限定し、検温、マスク着用など対策を徹底しての開催となりました。
当日は受付の後、弥富支所前庭で約40万年前の伊良尾山の噴火によって流れ出た溶岩流の流れる様子を再現した火山実験をした後、畳ヶ淵まで約3.3㎞を歩きました。
現地では畳ヶ淵の成り立ちについて解説し、石探しゲームや、ワラで龍の飾りを作り畳ヶ淵龍神社（りゅうごんしゃ）に祈願し結ぶなどの体験をしました。
昼食は「龍の里やどみ」で弥富名物十割手打ちそばを堪能し解散となりました。
参加者からは、火山、溶岩流など土地のこと、お祭りのこと、地域のことを知る機会となり良かった、再現や説明がおもしろかったなどの感想をいただきました。
この地域の大地と人のつながりをわかりやすく知っていただく素晴らしいイベントとなりました。参加者の皆さま、スタッフの皆様暑い中大変お疲れ様でした。

オンラインバスツアーでジオパーク！



8月8日、**琴平バス（香川県）さんの“オンラインバスツアー”**で萩にお越しいただきました。当日は11名のお客様にお越しいただき、1時間半かけてご案内しました。菊屋横町を観光協会ガイドの平野さんがご案内した後、萩城下町と関係の深い火山、笠山を白井専門員がご案内しました。途中でクイズを交えるなど、参加者の皆さんと楽しいやり取りをしながらのツアーで、案内する側も楽しい時間を過ごすことができました。
琴平バスさんは現地から生の景色をお届けすることと、お客さんとのコミュニケーションを大切にされています。今回コラボで、改めてその大切さを実感しました。琴平バスさんとしても、オンラインツアーの実績のある萩ジオパークとのコラボはとてもやりやすかったと、喜んでいただきました。
このコラボツアー、なんと、次回開催も決まりました。内容は未定ですが、11月頃に開催予定です。お楽しみに！

魚食普及にも ジオパークが貢献！

萩では日本海の美味しい海産物を年中食べられます。なぜかというと、実は海の中に小さな火山が沈んでいて…。というお話を白井専門員がカメラの前で実験を交えながら解説しました。魚屋さんによる捌き方レッスンと合わせて、DVDになって小中学校に配られるそうです。
萩商工会議所の企画で、毎年行っている子ども向けイベントの代わりにということで相談を受け、実現しました。こういった場面でもジオパーク的な視点を取り入れていただけて、とても嬉しいですね。

萩ジオパーク活動補助金活動レポート

須佐ホルンフェルスに無人人数カウンター設置

8月10日、**萩商工高等学校によって作製された無人人数カウンター**が須佐ホルンフェルスに試験設置されました。現在は、これを微調整するとともに次回畳ヶ淵試験設置にむけ、無人人数カウンターを制作しています。
いずれも本格運用開始時には、人数カウントをリアルタイムで見ることができるサイトURLをお知らせします。

見島ダムボーリング試料調査及び、八町八反周辺の生物調査を実施

見島と共に生きる会により、見島ダム南側の八町八反に最も近い地点での**ボーリング試料調査及び、八町八反周辺の生物調査**を実施しました。
また10月30日に開催予定の八町八反ミニツアーや、11月6・7日開催予定の「溜池の水全部抜く！」調査イベントの打ち合わせが行われました。

海底地形図展 オープニングセレモニー

8月1日、一般公開に先立ち、海図150年を記念した萩海上保安署×萩ジオパークコラボ企画**「みんなで学ぼう！海の地図」展**のオープニングセレモニーを開催しました。併せて、海の安心安全にご尽力された方々への表彰式も行われました。
内覧会では、第7管区海上保安本部で海洋情報の収集に当たっておられる担当者から海図の歴史や測量方法を説明いただきました。また、萩を含む日本各地の特徴的な海底地形図については、白井専門員が解説しました。海の凹凸が分かりやすく示された萩沖の日本海の海底地形図の前では、表彰式に参加しておられた漁業者の皆様から漁場としての情報をお聞きし、大いに盛り上がりました。今後、大地と水産物や人とのつながりを紹介する際にはより深いお話ができるようになりました。

小学校の生活・総合の先生向け研修を行いました

7月27日に、小学校の先生方で構成される**萩・阿武小学校教育研究会の生活・総合部会**からご依頼をいただき、研修会を開催しました。大地と向き合って暮らすということを題材に、小さな火山「笠山」の山頂で火山の成り立ちについて実験などを通して学び、その麓の越ヶ浜集落を散策して大地と共に暮らす人々の知恵に触れるという2時間の内容でした。
世界中のどこで暮らすとしても、その土地と向き合って自然の一部として暮らすということの大切さを、体験的に理解していただけたと思います。
猛暑の中でしたが30名近くの先生方にお集まりいただき、みなさん熱心に活動に取り組まれていました。こうして研修（しかも生活・総合の分野！）でジオパークを利用していただけることはとても嬉しいですね。

プレミアムゆめ散歩　萩ジオツアー「〇〇さんに会いに行こう」

山口県央連携都市圏域（山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町）で、本年7月から12月まで開催されている「山口ゆめ回廊博覧会」。このメインイベントのうち一つとして開催されるプレミアムゆめ散歩萩ジオツアー「〇〇さんに会いに行こう」についてお知らせします。
是非お誘いあわせのうえご参加ください。

｜蔵元杜氏さんに会いに行こう｜

1億年前の超巨大噴火が酒造りに適した水を育み、阿武火山群が生んだ火山地形が、米栽培に好適であったことなどから酒造りが盛んな萩市の東部の山間地・むつみ地域。この地域で古くから造り酒屋を営む八千代酒造の若き5代目蔵元杜氏・蒲久美子さんは、萩の大地とどう向き合って、どう暮らしているのでしょうか？
むつみ地域をＥバイクで巡り実際に蒲久美子さんに会いに行くプレミアムなツアーです。

開催日時：1回目9月19日（日）13:00～16:30
2回目10月2日（土）13:00～16:30
申込締切：1回目9月10日（金）17:00
2回目9月24日（金）17:00
集合場所：八千代酒造　**開催時間**：3時間30分
料金：8,500円（お土産：日本酒720ml込）
申込方法：萩ジオパーク推進協議会0838-21-7765
又は萩ジオパーク推進協議会HPメールフォーム
※自転車サイズを決めるため身長もご連絡ください。
定員：8名（最少催行：3名）

｜萩焼作家さんに会いに行こう｜

400年以上の歴史を持つ萩を代表する工芸品「萩焼」。その伝統を受け継ぐ萩焼作家さんは萩の地をどう感じて、どう暮らしているのでしょうか。萩焼のはじまりの窯「坂 高麗左衛門窯」の若き萩焼作家、坂 悠太さんに会いに行くプレミアムなツアーです。ナビゲーターは萩ジオパーク推進協議会のジオパーク専門員・白井孝明が務めます。

開催日時：1回目10月30日（土）13:00～15:30
2回目11月7日（日）10:00～12:30
申込締切：1回目10月22日（金）17:00
2回目10月29日（金）17:00
集合場所：東光寺総門前
開催時間：2時間30分
※坂道を往復40分ほど歩きます。
料金：3,500円
申込方法：萩ジオパーク推進協議会0838-21-7765
又は萩ジオパーク推進協議会HPメールフォーム
定員：15名（最少催行：3名）

萩ジオeアカデミー　～Webで学ぼう～

『萩ジオeアカデミー』として、2020年度に実施した以下のタイトルの講義動画を無料視聴できます。

視聴を希望される方は、URLとパスワードをお知らせするので住所、氏名、希望される動画タイトル、メールアドレス、電話番号を当事務局 geo.@city.hagi.lg.jp までご連絡ください。また、萩市立図書館でも視聴が可能です。こちらは直接図書館にお越しください。

タイトル	氏名（肩書）
地球の歴史	脇田 浩二　（山口大学特命教授）
地質図の世界	脇田 浩二　（山口大学特命教授）
日本の地質とジオパーク	脇田 浩二　（山口大学特命教授）
プレートテクトニクスの基礎	坂口 有人　（山口大学大学院創成科学研究科教授）
付加体とジオパーク	脇田 浩二　（山口大学特命教授）
日本海形成と日本の地質	高橋 雅紀　（産業技術総合研究所 地質調査総合センター）
地層と堆積作用	宮田 雄一郎　（山口大学名誉教授）
活断層と地震	金折 裕司　（山口大学元教授）
火山の基礎	清杉 孝司　（神戸大学海洋底探査センター講師）
白亜紀マグマ活動	今岡 照喜　（山口大学名誉教授）
地形の基礎	楮原 京子　（山口大学教育学部准教授）
地形・土壌と植生	荒木 陽子　（大阪市立自然史博物館外来研究員）

9月の予定

● **大地の遊び人養成講座＃３「秋の大地と遊ぼう」**　9月18日（土）9：00～13：00　場所：阿武町筒尾　内容：野外での遊びを通して大地と人のつながりを実感する力を養う　参加費：大人2,500円、小中学生1,500円　定員：10名（受付終了）　主催：萩ジオパーク推進協議会　問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

○ **geoとも（萩ジオ友の会）定例会「萩西海岸で石あそび」**　9月18日（土）9：30～16：00　集合場所：中央公園　主催：geoとも　問合せ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8749-9383）

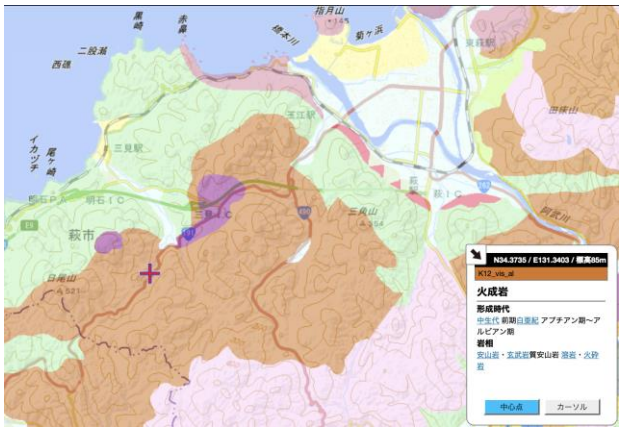
● **山口ゆめ散歩　萩ジオツアー「〇〇さんに会いに行こう」酒蔵編**　9月19日（日）、10月2日（土）13：00～16：30　集合場所：八千代酒造（萩市むつみ）　内容：むつみの大地をE-バイク（電動自転車）で巡り蔵元杜氏さんの目を通して大地と人のつながりを体感する　参加費：8,500円（日本酒お土産付）　定員：8名　主催：萩ジオパーク推進協議会　申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

わっきー教授のつぶやき

山陰道を長門の方から萩に向かってドライブしてくると、萩市街地に到着する直前に、道の駅「さんさん三見」があります。日本海を臨んだとても、美しい景色を眺めながら、お買い物やお食事ができますし、観光地「萩」に入る直前の高揚感を味わうことができます。

この三見地区には、関門層群という地層が分布しています。今から約 1 億 2000 万年前の地層で、この三見地区から下関市北部にかけて広く分布しています。関門層群は、砂岩や泥岩といった堆積岩(地質図の黄緑色の場所)と、安山岩などの火山岩(地質図の茶色い場所)から構成されています。これは、陸地が割れて凹みが出来たところに地層が堆積したり、陸地の割れ目から火山が噴火したりしたことを示しています。指月山や田床山の岩石や佐々並カルデラの岩石は、関門層群より後の時代のマグマ活動で出来た物で、関門層群でのマグマ活動はそれらの前駆的な活動だと考えられます。

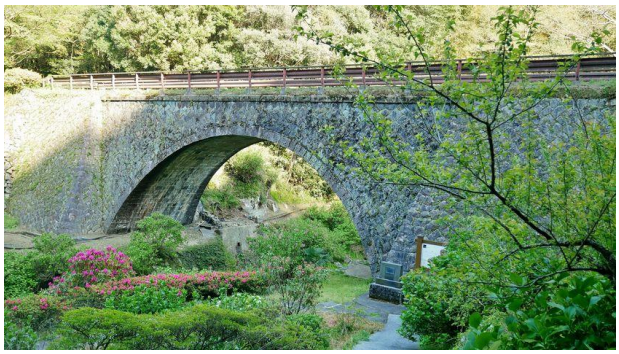
仙毒の幕岩



萩ジオパーク、三見地区の地質図
(日本シームレス地質図 V2)

韓国東南部には、関門層群と同じ時期に出来た慶尚層群があります。約 2000 万年前に日本海が出来る前は、韓半島と日本列島は陸続きだったので、2 つは連続した地層群であったと思われます。

指月山などと同じ時代のマグマで出来た閃緑岩が、三見地区の安山岩の中を貫いて分布しています(地質図の紫色の場所)。この閃緑岩を使って、三見橋(地質図の十字の場所)を造ったようです。三見橋（写真）は、今から 100 年以上も前の大正 3（1914）年に建設された大型の石橋で、アーチ型の眼鏡橋です。アーチの部分だけは砂岩のようですが、他の大部分は閃緑岩で出来ています。



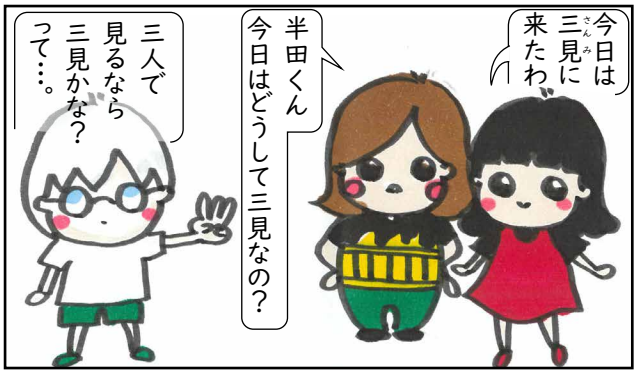
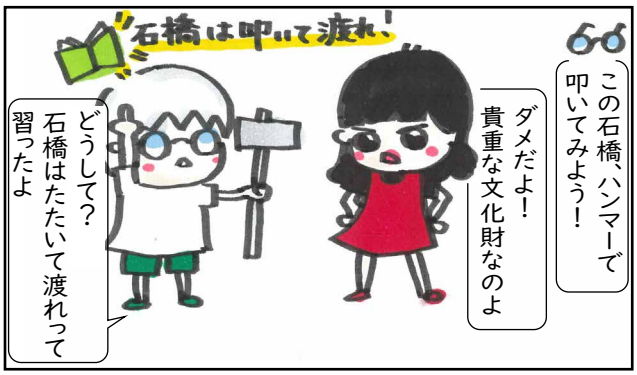
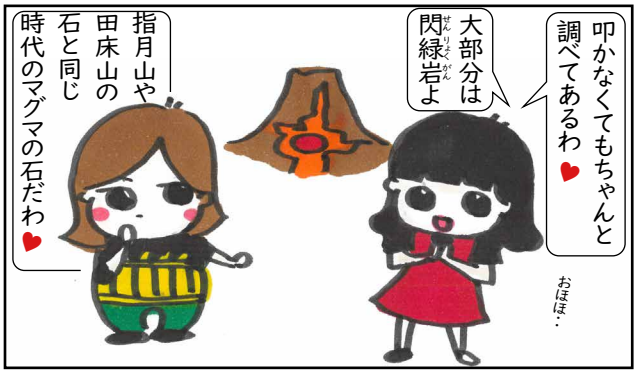
三見橋（萩市観光協会ＨＰより）

ちなみに、４コマ漫画の最後のオチが分からない人は、昭和の歌姫・美空ひばりの「愛燦燦」を参照してください♪

がんばれ！半田くん

原作：わっきー教授　画：白玉だんご

第54話　三見に来たよ！



第55話 石橋は叩いちゃダメよ